

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年6月4日 (2009.6.4)

【公開番号】特開2008-45749(P2008-45749A)
 【公開日】平成20年2月28日 (2008.2.28)
 【年通号数】公開・登録公報2008-008
 【出願番号】特願2007-208445(P2007-208445)
 【国際特許分類】

F 1 6 D 65/092 (2006.01)

B 6 1 H 5/00 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 65/092 A

B 6 1 H 5/00

【手続補正書】
 【提出日】平成21年4月17日 (2009.4.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ライニングホルダに固定可能な、金属の支持体プレート（1）からなる、レール車両内のディスクブレーキライニング用のブレーキライニング支持体であって、前記支持体プレートはブレーキライニング材料（3）を圧入するために、その長さの少なくとも一部にわたって、長く延びる隆起部（4）を有しており、前記隆起部が、実質的に支持体プレート（1）の平面から押し出された台形の形状の、通路状の横断面を有しており、前記台形の短い側が支持体プレートの平面内に位置しており、より長い台形側を形成する材料面（4.1）が、少なくとも1つの切欠き（4.2）を有し、前記切欠きが一方の側において、より短い台形側の方向に屈曲された、隆起部（4）の長手軸に対して垂直に延びる、側方の端縁細片（4.3）によって画成されている、前記ディスクブレーキライニング用のブレーキライニング支持体において、

隆起部（4）が、その端部の領域において、その長手軸に対して垂直に延びる、支持体プレート材料から屈曲された端縁細片（4.4）によって画成されていることを特徴とするディスクブレーキライニング用のブレーキライニング支持体。

【請求項 2】

各切欠き（4.2）が、隆起部の長手軸に対して垂直に延びる2つの側において、より短い台形側の方向に屈曲された側方の端縁細片（4.3）によって画成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のブレーキライニング支持体。

【請求項 3】

支持体プレート（1）内に、隆起部（4）の側方に、ブレーキ材料を圧入するための切通し（5）が形成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 のいずれか 1 項に記載のブレーキライニング支持体。

【請求項 4】

支持体プレート（1）内に、通路形状の隆起部（4）の延長上に、ブレーキライニング材料を圧入ないし圧挿するための少なくとも1つの他の切通し（5）が形成されていることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のブレーキライニング支持体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、特許請求項1の前文に記載の、ブレーキライニング支持体に関する。

この種のブレーキライニング支持体は、FR1510268Aに記載されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この課題を解決するために、ライニングホルダに固定可能な、金属の支持体プレートからなり、その支持体プレートに、ブレーキライニング材料を圧入するために、その長さの少なくとも一部にわたって長く延びる隆起部が設けられており、その隆起部が、実質的に支持体プレートの平面から押し出された台形の形状の、通路状の横断面を有しており、その台形の短い側が支持体プレートの平面内に位置しており、その場合により長い台形側を形成する材料面が、少なくとも1つの切欠きを有しており、その切欠きが一方の側において、隆起部の長手軸に対して垂直に延びる、より短い台形側の方向に屈曲された、支持体プレート材料の端縁細片によって画成されている、レール車両内のディスクブレーキライニング用のブレーキライニング支持体のために、本発明によれば、隆起部がその端部の領域において、その長手軸に対して垂直に延びる、支持体プレート材料から屈曲された、付加的な端縁細片によって画成されていることが、提案される。これらの端縁細片の全体が、支持体プレートとブレーキライニング材料ないし摩擦ライニング材料との間に改良された噛合いをもたらし、従ってブレーキライニング材料ないし摩擦ライニング材料と支持体プレートないし押圧プレートとの確実な結合をもたらす。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

台形の長い方の側を形成する材料面4. 1に、少なくとも1つの切欠き4. 2が形成されており、その切欠きは支持体プレート材料の、台形の短い方の側の方向へ屈曲された、端縁細片4. 3によって画成されている。この端縁細片4. 3は、通路状の隆起部4の長手方向に対して垂直に延びており、かつ支持体プレートとブレーキライニング材料ないし摩擦ライニング材料との間に確実な噛合いをもたらす。台形状の隆起部4は、その端部の領域に、長手軸に対して垂直に延びる、支持体プレート材料から屈曲された端縁細片4. 4を有している。支持体プレート1内において、台形状の隆起部4の側方かつ場合によっ

てはさらに隆起部 4 の延長上にも、ブレーキライニング材料を圧入ないし圧挿するための切通し 5 が形成されている。